



平成 20 年 2 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 ク レ オ
 代表者名 代表取締役社長 土屋 淳一
 (JASDAQ・コード 9 6 9 8)
 問合せ先 執行役員管理本部長 石塚 敏明
 TEL 0 3 - 3 4 4 5 - 3 5 0 0

平成 20 年 3 月期 (単独・連結) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 4 月 27 日付当社「平成 19 年 3 月期決算短信」において発表いたしました、平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) の業績予想について下表のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
前回予想 (A)	14,000	410	400	250
今回修正 (B)	12,900	0	0	△110
増減額 (B-A)	△1,100	△410	△400	△360
増 減 率	△7.9%	-%	-%	-%
(ご参考) 前期実績	17,278	△638	△691	△960

(2) 修正理由

コンシューマ事業においては、毛筆ソフト市場が縮小するなか販売シェアを維持することができました。また、サポート&サービス事業については既存顧客の受注が拡大したことにより、2 事業においては概ね予想通りの業績を見込んでおります。

しかしながらシステム開発事業においては、不採算プロジェクトが発生したことによる機会損失の影響により売上高が減少いたしました。また ZeeM 事業においては、売上が年度末に集中する傾向のため、計画上も期末月への売上を見込んでおりましたが、商談の長期化による来期への一部延伸等の受注ボリューム不足により計画を下回る見通しとなりました。

この売上高の減少および不採算プロジェクトによる原価高の影響により利益についても計画を下回る見込みとなりました。

このような状況のもと全社的な営業努力、経費削減等を努力してまいりましたが、システム開発事業および ZeeM 事業の影響により、売上高は 12,900 百万円、営業利益は 0 百万円、経常利益 0 百万円、当期損失は 110 百万円となる見込みです。

2. 平成 20 年 3 月期 単独業績予想の修正等

(1) 通期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
前回予想 (A)	11,000	260	250	200
今回修正 (B)	9,800	△ 100	△ 50	△ 140
増減額 (B - A)	△ 1,200	△ 360	△ 300	△ 340
増減率	△ 10.9%	-%	-%	-%
(ご参考) 前期実績	10,502	△ 823	△ 794	△ 1,054

(2) 修正理由

連結業績予想と同様、売上につきましては、システム開発事業および ZeeM 事業においては年度末に集中する傾向にあり計画上也期末月への売上を見込んでおりましたが、商談の長期化による来期への一部延伸に伴う受注ボリュームの不足などにより計画を下回る見通しとなりました。利益についても、売上高の不足に伴う減少および一部不採算プロジェクトによる原価高の影響により計画を下回る見通しとなりました。

このような状況のもと全社的な営業努力、経費削減等を努力してまいりましたが、システム開発事業および ZeeM 事業の影響により、売上高は 9,800 百万円、営業損失は 100 百万円、経常損失 50 百万円、当期損失は 140 百万円となる見込みです。

以 上